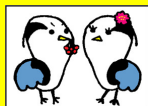


～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫便り

平成 25 年 6 月 10 日 (NO.3)

浦幌町教育委員会



### 浦幌地区コーディネーター会議

■5月30日、第2回浦幌地区コーディネーター会議(浦小、浦中、厚内小)が開催され、次のような組織体制が決まりました。

(議長)平岡校長 (事務局長)坂田教頭  
(学習部長)鳥居教諭 (副部長)笹川教諭  
(部員)中村校長 坂田教頭 松村教諭  
(生徒指導部長)三浦教諭  
(副部長)金田教諭  
(部員)吉藤校長 平岡校長 山本教頭

■各部会では、次のことが協議されました。これらを各学校に持ち返って話し合い、できるところから取り組んでいきます。

#### 学習部会

- 町内研(11/21)で小中合同の授業を行う
- 小中の教諭が相互に授業を参観する
- 小中合同で学習サポートを行う 他

#### 生徒指導部会

- 長期休業中の生活のしおり作りを行う
- 中学校の意見発表会に6年生が参加する
- 中学校の一日体験を広げ、事前の相互交流を行う 他

■なお、3月18日の会議では、学校支援本部事業を小中一貫の組織に組み込んでどうか、コミュニティ・スクールの一環として現存の組織をまとめてはどうか等の意見も出されていました。

### Q&A Q6. 小中一貫教育の現状はどのようなものですか。

●小中一貫教育は制度的に位置づけられたものではなく、小中学校の9年間を見通した教育を目指して独自に取り組まれてきています。

日野学園のように教育課程の基準の特例を活用している学校がある一方、三鷹市立学校のように現行制度の範囲内で行っている学校があります。

### Q&A Q7. 小中一貫教育の背景はどのようなものですか。

●中学校に進学する段階で、中1ギャップに直面することが多くなります。

また、少子化の進行により人間関係が固定化しやすい中、多様な人たちと関わる機会を増やすことが求められています。

小中学生の触れ合いを通して、自尊感情を高め、いじめや不登校、暴力行為の解消が期待されています。

### 小中一貫先進地視察(第1回)

(日 時) 6月25～27日

(視察者) 山本輝男次長、森雅仁校長  
山本瑞聡教頭

(視察先) 京都市立御所南小学校  
京都市立京都御池中学校  
京都市教育委員会  
京都産業大学

